

# こうとう民報

2013年4月号 102

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

## 福島を忘れない 原発いらない 亀戸ホコ天大宣伝行動



4月7日、歩行者天国でにぎわう亀戸十三間通りで、「さよなら原発・江東」主催の亀戸ホコ天大宣伝行動が行なわれました。宣伝はリレートークで進められ、歌やダンスなど様々な形で「原発ゼロ！」を訴えました。

リレートークに参加した宇都宮健児さんは「福島第一原発では、ネズミ一匹が配電盤に侵入し、使用済み燃料プールを冷やすための冷却装置が停止するという危険な事態が起こりました。ネズミ一匹でその冷却装置が止まってしまう原発がなぜ安全だといえるのでしょうか。」

福島からは今でも15万人以上の方が避難生活をいられています。それにも関わらず東電は、賠償の打ち切りをはじめました。被害を受けたすべての方たちの生活と健康を守るのは、加害者であり安全神話を進めてきた国と東電にある。

すべての被災者支援と原発ゼロの社会をめざして頑張りましょう！」と訴えかけました。

この日は、たいへん風の強いなかで、多くの人たちが力強く「原発ゼロ！」を呼びかけ、署名活動がおこなわれました。



区議会第一回定例会（3月28日閉会）では、東京都より豊洲の築地市場移転予定地の土壌汚染対策、および市場施設整備を「1年遅らせる」との報告がありました。

その理由は「これまで「汚染はない」とされていた不透水層まで汚染されていたことがわかり、対策の必要な土壌が当初（28万㎡）の1.5倍に膨れ上がった。」

「移転ありき」で「豊洲の築地市場移転予定地」の調査と計画  
不透水層の汚染や松杭やコンクリート杭が大量に埋

### 土壌汚染の徹底した調査を 豊洲の築地市場移転予定地

円の追加が必要であることが明らかになりました。

地中に撤去が必要な「杭」など想定外の障害物があつた。

められていることなどは、以前から学者や関係者から指摘されていたことです。

### 大幅賃上げで暮らしやすい世の中に！ 区内労組が春闘賃上げパレードで訴え！

3月29日、昼休みにもかわらず区労連、全印総連、新聞関係労組の百名を超える組合員が参加し、木場2丁目公園から春闘パレードを



行いました。パレードに先立ち、アサガミプレスセンター労組は「本日は賃上げ回答の回答日、要求実現のため頑張りたい。」

区労連からは「大手企業は一時金などで前進があるが、中小企業では経営も悪化しているところも多い。しかし大幅賃上げで景気回復を勝ち取りたい」と決意表明が行われました。

パレードでは沿道を行きかう人たちに「大幅賃上げを勝ち取ろう」「消費税増税反対」「誰でも時給千円以上の最低賃金を」など力強くシュプレヒコールで訴えました。

### 「食の安全」を守れ

土壌汚染をめぐっては、つい最近も「大島小松川公園」で安全対策の処理をしたはずの六価クロムが、環境基準の3千倍超という汚染が見つかり問題になっています。

東京ガス跡地は深刻な汚染状況でこれをなくす完全な対策などありません。築地市場の再整備で「食の安全」を第一に考える都政への転換が必要です。



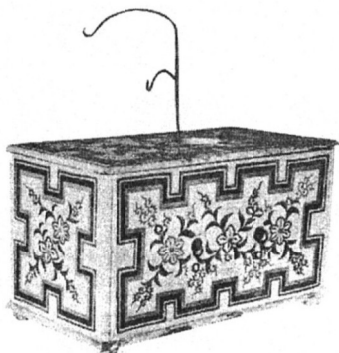
山崎区長に、「国保料値上げを中止せよ」と申入れをする日本共産党区議団

### 騒動

今春の桜前線は例年より早く走り過ぎていき、入学式の頃には葉桜になつてしまいました。14日、久々に日本共産

党演説会が砂町小体育館で開かれ、弁士には都議選、参院選の三人の候補者が揃いました。右よりの危険な路線に踏みこむ「不安倍增内閣」への怒りを胸に、強風について集った800人余の聴衆で場内は熱気につつまれました。演説はいずれも、オール与党の悪政を斬り、建設的提案で行動する党の議席の役割と値打ちを語り、二つの選挙での勝利の意義を訴えました。そこに共通するのは、憲法を守り生かす政治の実現をめざすことです。虚構の多数を占めた安倍政権は、明文改憲の絶好の機会とばかりに、維新の会やみんなの党と結んで参院選にのぞんでいます。4月28日には、「主権回復の日」式典を予定。52年の単独講和とともに、発効した安保条約によって、日本本土に米軍基地がおかれ、現在も北朝鮮の暴走の目標にされるなど、世界に例のない異常な事態が続いています。米国に従属した統治権の回復を祝つのが自民党政治です。国民主権と平和的生存権の憲法こそが戦後日本の出発点です。TPP参加で食料主権、経済主権まで売り渡す暴挙は絶対に許せません。救国の道を切り拓く日本共産党の前進を！

「蘭学の発達と江東」



平賀源内のエレキテル

江戸時代に科学的学問を確立した蘭学者たちは、江東に深いかかわりをもっています。

前野良沢らと「解体新書」を出版した杉田玄白は、本所、深川の患者の治療にあたり、砂村で薬草の採取をしました。

玄白の友人の平賀源内は、深川清澄町の別荘で、エレキテルを復元して発電する実験に成功。田沼老中の子息や大名などの見物客で大変にぎわいました。読売江東ビル前に「平賀源内電気実験の地」の碑が建っています。

正確な日本地図をつくった伊能忠敬は、千葉の佐原で酒造業などで財を成し、1795（寛政7）年、江戸に出て深川黒江町に住みました。幕府天文方高橋至時に天文学を学び、自宅に天文台をつくって全国を測量し、「大日本沿海輿地全図」を完成。1800（寛政12）年から16年間、総額1万両をくだらない大事業でした。門前仲町1丁目に「伊能忠敬住居跡」の碑が建っています。

世界地図に唯一日本人で名を残す間宮林蔵は、伊能忠敬に測量術を学び、1808（文化5）年から北海道、樺太、黒竜江上流まで探検、間宮海峡を発見しました。晩年は幕府の隠密となり、1844（弘化元）年、深川蛤町（永代2丁目）で死去。墓は平野2丁目にあります。

坪井信道は蘭方医で、1829（文政2）年に蘭学塾を木場にひらき、3年後に冬木町に移り「日習堂」と名づけました。2千人の門人の中に大阪の適塾の緒方洪庵もいました。大村益次郎、橋本左内、福沢諭吉らは適塾出身ですから、明治維新の源流は冬木町から発したといえるでしょう。

村上英俊は日本で初めて仏語を学び、1867（慶応3）年、猿江で仏語塾「達理堂」をひらきました。塾生は浜尾東大総長や中江兆民ら429人。中江兆民訳のルソー「民約論」は自由民権運動に火をつけ、深川は自由民権運動の原点ともいえます。（中江兆民の碑は亀戸天神にあります）

○ 5月1日（水）9時開場・11時閉場	○ 5月6日（月・祝）12時	○ 5月16日（木）18時半	○ 5月26日（日）13時	○ 5月31日（金）6月1日
代々木公園	国民平和行進出発集会	夢の島・第五福竜丸展示館前	憲法学習会	東京土建江東支部会館
時々木公園	第84回メーデー	健児さんカメラクラブ	階研修室（江東革新懇）	東京土建江東支部会館
行事日程				『華麗な休暇』

概説 江東の歴史 (21)

消費税増税中止してほしい！

区内労組が商店街調査



3月24日、江東区労連と江東国民春闘共闘委員会は、大島中の橋商店街で「2013年営業とくらしアンケート調査」を行い24通の回答がありました。アンケートでの主な特徴は、事業主の年齢は50代以上が21件（87%）と高齢化が進んでいること。「後継者がいない」が6割近くを占めていること。売上げ・利益は前年比減が8割を超え、大型店出店の影響が大きいとの回答が15件ありました。消費税については、価格に全く転嫁できていないが4割近くを占め、増税の影響につ

いては20件（83%）が「悪くなる」と答えています。健康面でも一日10時間以上働く事業主が6割を超え、全く休まず働いている実態もありました。

行政に望みたいことのトップは「消費税増税中止」が14件で、介護保険料引下げ11件、国保料引下げ10件、そして大型出店を規制してほしいという声も9件ありました。江東区労連はこの結果をもとに江東区への予算要望などに反映させていきたいとしています。

新しい日本と東京をきりひらく 日本共産党演説会



弁士 志位 和夫 委員長 5月22日（水）有明コロシウム 18時開場



東京土建江東支部定期大会 仲間の命と暮らしを守る！ 4月7日、東京土建一般労働組合江東支部が『第58回定期大会』をすみだ産業会館にて開きました。

金谷修支部長は、「組合は現場で働く『仲間の命と暮らしを守る』それを基本に運動を進めてきた」と挨拶。組織の拡大運動、早朝・夕方の駅頭宣伝、国会などへのはがき要請、各種要求の署名、東日本震災復旧支援活動、原水爆禁止運動、区民の要求に応える住宅相談など多彩な取り組みを報告しました。活動方針では、今後の3年間で公契約条例制定をめざし、区労連や各団体と協力し、地域諸団体へ働きかけて運動を広げていくこと。現場訪問や駅頭宣伝活動を展開して、対区要請行動、区議会各会派要請行動に取り組みむとともに、組合員を拡大して組織の強化をはかろうと決意しました。

あぜ上三和子都議、小池晃政策委員長 吉良よし子参議院東京選挙区予定候補

日本共産党演説会

熱の証！

4月14日、日本共産党江東地区委員会・江東後援会は砂町小学校で演説会を開催。会場には800人が詰め掛けました。



800人の熱気！

あぜ上都議は「予算の3.1%を組み替えれば7千五百人分の認可保育園の増設、5千人分の特養ホームの増設、国民健康保険料5千円の値下げが可能です。いのちくらしを守る都政へ転換していきましょう！」と財源も示しながら訴えました。吉良よし子参議院東京選挙区候補は「私は戦争ができる国づくり

をめざす憲法9条改悪は絶対に許しません！」と力強く訴えました！小池晃政策委員長は「官から民へといっている政党が政党助成金という公費を受け、すっかり国営化している」と批判。「負担というなら大企業、富裕層にもきっちり負担してもらおうではありませんか」と訴えました。